

株-1グランプリ

毎月5人のプロたちが3銘柄を厳選

【競技ルール】1人3銘柄を選択。時価総額が100億円以上の銘柄のみ。今月は第1月曜日の始値から計測開始。以降、3月29日までのザラ場を含む高値の3銘柄合計のパフォーマンスを競う。ただし、当初の3銘柄については、1度だけ変更が可能。その際、除外した銘柄のそれまでのパフォーマンスはカウントされない。優勝賞金は3万円。

【岡山憲史氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価(3月4日始値)	高値(3月21日まで)	騰落率
VRAIN Solution	135A	6060円	7890円	30.2%
フォーサイド	2330	435円	505円	16.1%
Laboro, AI	5586	1763円(11日)	2590円	46.9%

※残り1週間で株価2倍増目前

【長谷川伸一氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価(3月4日始値)	高値(3月21日まで)	騰落率
VRAIN Solution	135A	6060円	7890円	30.2%
フォーサイド	2330	435円	505円	16.1%
QPS研究所	5595	3995円	4620円	15.6%

※トップとの差は約30%。逆転はあるのか?

【古賀真人氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価(3月4日始値)	高値(3月21日まで)	騰落率
VRAIN Solution	135A	6060円	7890円	30.2%
サーバーワークス	4434	3960円	4590円	15.9%
三社電機製作所	6882	1880円(11日)	1857円	1.5%

※伸び対価三社電機製作所に期待

【丸山昭利氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価(3月4日始値)	高値(3月21日まで)	騰落率
さくらインターネット	3778	6390円(18日)	8110円	26.9%
ソシオネクスト	6526	3629円(18日)	4036円	11.2%
野村マイクロ・サイエンス	6254	1万7800円(18日)	1万9180円	7.8%

※先週の銘柄入れ替えが突功

【明石圭氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価(3月4日始値)	高値(3月21日まで)	騰落率
QPS研究所	5595	3995円	4620円	15.6%
海帆	3133	1245円	1375円	10.4%
マネーフォワード	3994	6930円	6947円	0.2%

※QPS研究所は高値更新も順位は伸びず

大幅な調整を経て、日経平均株価が史上最高値を更新してきた。トップを走る岡山憲史氏のパフォーマンスは、間もなく株価2倍増に達しそうな勢いだ。3月の「株-1グランプリ(GP)」もいよいよ最終週に突入。今週の株プロたちの銘柄の値動きに注目したい。(月曜掲載)

株プロと読者 賞金3万円 獲得するのは誰だ

チャレンジャー募集
希望者は、はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、株式投資歴を明記の上、〒100-8160(住所不変)夕刊フジ報道部「株-1GP」係まで。

VRAIN Solutionが高値更新!
VRAIN Solutionは21日上場後高値更新、利益確定売りを吸収しながらさらなる上昇が期待できそう。フォーサイドは下値を固めており、再度上昇基調が強まりそう。Laboro・AIはAI関連株の中心銘柄。AIに関する顧客の旺盛な投資需要を捉え、市場成長を捉える約20%の売り上げ拡大を目指す。

優勝はQPS研究所次第か
VRAIN Solutionは、高値を抜き青空相場入り。生産人口が減少していく日本にとって省人化は極めて重要なテーマとなる。外観検査がさまざまな業種に採用されることになり、同社の成長は加速しそうだ。25日移動平均線でもみ合いが続くフォーサイドは、上放りに期待。

サーバーワークスの反騰に期待
VRAIN Solutionは、この環境を好感し、高値を更新している。サーバーワークスは下落し止まりかかった状況にはなっているものの上げ強しており、今週の動向に注目。三社電機製作所は反騰上昇に期待。ファンダメンタルズは先週とは一転、クロス銘柄に追い風になりそう。

さくらインターネットが急反発へ
今週は引き続き、AIや半導体関連株が乱高下し、ワクワクしている。海帆は、昨今の乱高下相場の中でも横ばいが続き、パワーをためている状態。今週は、切り上がると25日移動平均に沿った上昇が期待できるのではないかと。トップとは大きな差がついているが、ひとつでも順位を上げてフィニッシュしたい。

チャートの近海には上昇間近の海帆
一方、ここまで値動きが激しかったマネーフォワードがようやく動意づいてきた。先週の上昇で高値更新が視野に入ってきた。海帆は、昨今の乱高下相場の中でも横ばいが続き、パワーをためている状態。今週は、切り上がると25日移動平均に沿った上昇が期待できるのではないかと。トップとは大きな差がついているが、ひとつでも順位を上げてフィニッシュしたい。

日銀金融政策会合後の含みで植田日銀総裁が「当面、緩和的な金融環境が継続する」と考えている」と述べたこと、米連邦公開市場委員会(FOMC)で政策金利見通しが変わらなかつたことなどを好感し、日米の株式市場は史上最高値を更新している。

日経平均が4万円を奪回し、ばらばらな銘柄も再安堵となりそう。株高はまだ続きそうだが、優勝するにはQPS研究所の急騰に期待したい。同社は、小型SAR衛星を開発製造し、宇宙から撮影した画像データを販売する事業だが、宇宙は人類にとって未知なる世界ではなくなってきた。

日銀金融政策決定会合は、マイナス金利解除、YCC政策の修正といった内容が盛り込まれ、利上げの方向性が打ち出された。これは円高トレンドへの出発点と考えられる。円安進行となった株式市場に追い風が戻ってきたといえる。

まずは、3月7日には1万9800円の高値をつけた銘柄、上昇余力は十分で、もし高値を抜いてくるようなことがあれば、青天井相場に突入する可能性も。今週は引き続き、AIや半導体関連株が乱高下し、ワクワクしている。

一方、ここまで値動きが激しかったマネーフォワードがようやく動意づいてきた。先週の上昇で高値更新が視野に入ってきた。海帆は、昨今の乱高下相場の中でも横ばいが続き、パワーをためている状態。今週は、切り上がると25日移動平均に沿った上昇が期待できるのではないかと。トップとは大きな差がついているが、ひとつでも順位を上げてフィニッシュしたい。

第1位
マーケットバンク
岡山憲史氏
93.2%

第2位
アセットマネジメントあきくら
長谷川伸一氏
61.9%

第3位
経済アナリスト
古賀真人氏
47.6%

第4位
マネー編集者
丸山昭利氏
45.9%

第5位
投資ライター
明石圭氏
26.2%